

●しゃらくかい

写楽句会

令和2年11月30日 59

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

霜月兼題「公園」 出題：池福楼

写真俳句



1 公園の上向き蛇口そぞろ寒

深まる秋に公園の水飲場は利用者もめっきり減りました。



2 小春空善き人びとの楽土かな

温もり広がる陽の力はすごい。人々の顔に平和な表情が浮かぶ。



3 コロナ禍や人なき公園秋の午後

2020年は大変な年でした。



秋深む少し足ばや遊歩道

4 秋深む少し足ばや遊歩道



斜め陽に国の公園惜しむ秋

5 斜め陽に国の公園惜しむ秋

日光国定公園の金精峠から戦場ヶ原方面を望んだもので、左の山裾は男体山、右の山裾は外山（とやま）です。



公園の落葉は鹿のフンだらけ

6 公園の落葉は鹿のフンだらけ

奈良公園の落葉の上を歩くときはよく注意する必要があります。



ジャンパーを手に公園の吾子さがす

7 ジャンパーを手に公園の吾子さがす

北風が吹いて来ました 子供の上着を持って公園に。



8 公園は犬の想いで黄の落葉



9 公園に子らの声なし秋の雨

俳句



公園画像

池福楼

東京、池袋に最近できた大きな公園です。

1 ぶらんこに老いぼれゆく吾秋哀れ

黒澤明監督の名作映画「生きる」の主演が乗る、ぶらんこの公園シーンが目浮かぶ。私も乗って見るが…

2 公園に落葉馴染みの顔探す

イギリスはコロナの第二波で自由に人と会うこともままならず、公園に行ってたまたま誰かに出くわすのがとても嬉しいです！

3 公園の草あおきまま冬に入る

イギリスでは芝は「芝生」ではなく単に「草」と言われる事が多く、一年中青いです。

4 公園の冬の陽豊か老二人

公園のベンチでお日さまに手の平を向け座るのが好きです。

5 子らの声なき公園に萩（おぎ）の声

子供たちの居なくなった公園に秋風が吹き渡りました。

※季語「萩の声」萩の葉を揺らす風がたてる音のこと。

6 小春日やふらここに座し揺れてみる

ぽかぽか陽気に誘われて公園でブランコに揺られてみました。

ふらここ（ブランコ）は春の季語ですが冬の季語「小春日」を強調しました。

7 ドングリの公園 今はまごこ居ず

孫が拾って来ましたが、今は痩せてしまったドングリだけが残っています。

8 犬遊ぶ赤黄緑初冬の樹

9 公園の銀杏落葉に影遊ぶ

銀杏落葉で黄色のじゅうたんになったような上に、子供らの遊ぶ影が躍動していました。

短歌

準坊

恒例の祭り囃子や盆踊り聞くことも無く秋いつの間に

コロナ禍の三社祭はお神輿も少なく車に載せお囃子を流して巡ってました。

北切雀

水際に

夏の名残の立葵

その紅深く

湖（うみ）より深く

近くの公園の一周4kmほどの池です。



川柳

準坊

新総理「叫び」のモデルとの噂

ムンクの「叫び」の顔になんとなく。

叩き上げ自慢の総理叩かれて

アジアの外遊先でも叩き上げ自慢。

保釈金選挙資金まだアンリそう

保釈金1200万円現金で選挙資金も使い道いろいろ。



・ 烏瓜の実



・ 陽明門

平成の大修理が終わって輝いています。



・ 鮎飯

埼玉県、寄居・京亭の天然鮎飯。

令和2年10月「月」（出題：読者CKさん）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

- * 皆さん、カメラがいいのかわかりませんが、私はとっても楽しませてもらいました！
- * 「月」への格別な心情の反映か、10月の写真俳句の文字入れは圧倒的に縦書きでしたね。
- * 今年は「写楽句会」でいいお月見ができました。

写真俳句 投票数：29

一席

いざよい わらくも

十六夜や叢雲の海浮き沈み 準坊（9票）

<< 天空を海に見立てて詠んでみました。>>



十六夜いざよひ
 叢雲むらくもの海浮き沈み

- * こういうドラマチックな景色大好き！！ 物言わぬ月も雲の動きでなにか語りかけてきそう。
- * ためらうように登る十六夜の月を邪魔するように雲が塞ぐ。世の中には好事に魔が多いですね。人生の機微を詠んだ句ですね。
- * 月の光が夜の空を明らかにして 言葉の使い方がいいと思いました。
- * 流れる雲に月が陰ったり、また現れたりする様子がよく出ています。
- * ロマンチックな句ですね。

* 月夜に雲が動いている時、海を感じることもあるので上手に表現するなあと思いました。

佳作 (令和2年10月号掲載順)

仲秋や銘々皿に月の菓子 北切雀

<< 季語ふたつですが「月」を形容詞的に使って薄めて「仲秋」とのバランスをとったつもりです。>>



- * 何ともしゃれている句ですね。月餅も美味しそうです。
- * 「月の菓子」は月餅の焼き菓子を詠んだもので季語には当たらないと思います。

作者：おっしやる通り。「虚の季語」というそうです。

- * 月餅は1/4に切ると中のアヒルの卵（栗）がまさに名月のように見えると言われるとか。

* その後皿を眺めながらお菓子を食べ始め栗？にたどり着いた美味しさを想像しました。お菓子の配置が良かったです。

作者：栗もあるようですが、これは鶏卵の卵黄でした。



十五夜に独り冷酒夜もすがら 一枝

- * 淋しくもあり自由闊達でもあり。周囲の雲を祓うがごとき満月。せっかくの「独り」にお邪魔して「お流れ頂戴」と行きたいです。
- * 古来から神々に豊作を感謝し酌み交わす十五夜の月見酒。自然や四季に心を通わせる「風流」を楽しんでいますね。

児童皆 家路につきて月登る 昼寝覚

<< 誰もいなくなった校舎を、満月が煌々と照らしていました。>>

- * 子供たちに向ける温かい目が感じられます。
- * 仲秋の名月を愛でる意味を学童たちは昼間の授業で勉強したことでしょう。
- * 満月が寝静まった校舎を、静かに照らしていていいですね。





昼の月いつしか消えて菊日和 iSAMU

- * 「菊日和」とはゆかしい季語ですね。昼の月のまったり感とよく合っています。
- * 透き通るように浮いている昼の月は何か現実的でないイリュージョンのよう。比べて菊は明白なリアル風景。あえて二つの季語を使って時間の経緯を浮き彫りにしている。
- * きれいな写真ですね。
- * いかにも秋らしい句ですね。
- * 青空に溶けてゆく。

ぎぼし

満月と擬宝珠語らう古都の橋 久芽

<< 三条大橋の擬宝珠には池田屋事件の時に出来たと言われる傷が残っている。本当かどうか、今となっては月のみぞ知る。>>

- * 時代劇の1シーンと現代のビルが同居。月はこうして人の営みを眺め、文化と科学の発展の動機付けをしてきたのですね。
 - * 京都の旅情に浸って、名月を鑑賞できるなんて素晴らしい。忘れることの出来ない宵になったことでしょう。
- ※擬宝珠の由来は諸説あるとありますが「葱坊主」からきた説もあり、今は亡き「ねぎ坊主」さんの思い出に寄り添う句でもありました。

註：写楽句会の会員「ねぎ坊主」さんは2016年に他界されました。



部屋の月いつも半分秋光る 梵木

- * 写真がなければ分かりにくい、句がなければただの部屋の天井写真、でも二つそろえば良き作品に変身、お見事です。
- * 拙宅にも同様の照明がありますが、月と結びつけるとは思いもよらず。確かに半面は絶対見せませんね。
- * 自宅の天井に星空を写すプロジェクターのように大きな月が浮かぶ。想像を持ってすれば、何でも見ることができます。

月今宵人を隔てるマスク捨て 池福楼

<< ソーシャルディスタンスとやらで人と人が隔離される今、その象徴がマスク。お月見にマスクは野暮。>>

- * マスクを捨て全身でこの名月を、という気持ちはよくわかります。
- * お月見にはマスクは必要ないで～す。





青空に満月のぼる白夜かな 千泉

<< 夏に撮った写真なのですが、いいのかなあと
思いながら投句します。>>

- * 白夜の満月一度見てみたいですね。
- * 高緯度ならばこそその満月。
- * 沈まぬ太陽と月。北欧に居る気分で終わらない1日を楽しむ。
通常の時間の感覚からはみ出て何故か自由を感じることでしょう。

俳句 投票数：27



画像デザイン：準坊

* 「私を月に連れて行って」の歌詞そのままにラブソングをイメージする、ステキな口絵の画像デザインです。

一席

亡き娘 月に住むかと孫が訊く マム (10 票)

<< 孫には「ママは見えないし声も聞こえないけど、ママの心がいつもそばに一緒にいるよ」と話しました。>>

- * 無邪気な問いに胸が熱くなりました。
- * お孫さんは立派に成長する事でしょう。
- * お辛い気持ちが伝わります。
- * ママにあいたくなったら、つきにむかってはなしかけてみては…きっとママのえがおがみえてくるよ。
- * お孫さんに寄り添う気持ちがよく出ていますね。「・・・月に住むのと孫の訊く」では如何でしょうか。

作者：格調高い文語体？はよく分かりませんので 呟きのままの口語体ありがたいです。

- * 心にジーンとくる句ですね。すべてお孫さんの視点として「亡き娘」→「亡きママの」としたらいかがでしょうか。
- * 切ないですね。お孫さんがママに呼びかける時 星や月の対象があった方がいいと思いました。

作者：未だ一人娘を亡くした悲しみを忘れられない母親の句です。ママではなく娘なので、そのままにしたいです。
皆様に読んでいただけありがたいです。悲しみの吐露できる場所ができ心の整理もできそうです。
外国暮らしには貴重な体験です。

佳作 (令和2年10月号掲載順)

名月に添ふて家路をゆるゆると 池福楼

<< 今年の中秋の名月は素晴らしかった。>>

- * 盆のような月と道行とはおつ。自然歩調はゆっくりに。
- * 仲秋の名月は、どこにいても思わず見とれてしまいます。
- * 「名月や池を巡りて夜もすがら」の名句を思い出しました。

待ち侘びて窓開け放ちブルームーン 準坊

<< 一カ月の間に2度の満月が出るのをブルームーンと言い希な事なので見られれば幸運と言われてます。今年10月31日(土)の23:50に2回目の満月を迎えます。晴れますように。>>

- * 私も10月31日の月を「待ち侘び」ました。束の間でしたが見られて満足。いい事あるかな。

必要かつ十分条件月今宵 昼寝覚

<< 満月は何を足さなくても何も引かなくても、十分美しいものです。>>

- * 正に同感。

10月は神様居ない神無月 梵木

- * アラビア数字となんとも言えない洒脱感。

北国の雲をまとふや後の月 北切雀

<< 名月も月食も大体は悪天候で見られません。「後の月」は十三夜の別名です。>>

- * 秋の最後の月も見るのが難しい天候の北国の早い冬の訪れ。長く厳しい季節を迎える、憂鬱でどんよりした気分を表して秀逸。
- * お月見の頃はお天気はイマイチです、雲間にチラッとでも見られれば。

望遠鏡はるか土星に月四つ 千泉

<< 近所の方の天体望遠鏡で初めて土星を見て感動しました。側の点々が土星の月と教えられ2度感動しました。>>

- * 私もプラネタリウムとかが大好きです。計り知れない宇宙の神秘を垣間見る思いですね。
- * 月の概念を変えてくれて、宇宙の壮大な広がりを見せてくれる一句ですね。
- * 宇宙のかなた、ロマンを感じる句です。

トンネルを抜ければ月の先回り 久芽

<< 月は追っ掛けて来るのかなと思ったらもう先まわり。>>

- * 仏の手の上の孫悟空か、ユーモア溢れて楽しい。
- * ありますね。
- * 良い道ずれですね。月からみれば人間はちょこまかして見えるかも。

夜行バス首を傾げて月見かな 一枝

- * なぜ、どんな状況で月夜の夜行バスなのか。ひょっとして恋の逃避行か。いろいろな想像、空想を誘う。
- * 月の美しさにバスの窓ガラス越しに覗いている光景が浮かびます。
- * 誰が聞いても頷けて誰もがきっとそうするだろうなあと思える、自然に浮かんだような親しみのある句でいいですね。
- * 私も家のベランダから首を傾けてみました。

昼寝覚

本歌取り狂歌

負う気なき浮世の民をなめんなよ 任命拒否の理由 (わけ) は見え見え
 白河のコロナ自粛に耐えかねて 元の濁りの居酒屋恋し
 大江山生野の道をGo toで 行かんとすれどクーポン減額

* 「本歌取り」とは忘れていた言葉でした。最近の俳句には名句をもじった「ぎゃ句” (ギャグ) 」があります。古今の名歌や名句を熟知していないとできない技です。

写真いいね！



月今宵人を隔てるマスク捨て 池福楼

推薦者：1名

* どうすればゴミ写真を、これほどシュールで美しい画像にできるのでしょうか。空の色が激しく深い。

- * 令和2年師走12月兼題は読者CSさんから「自分にとっての癒し」と出ています。1年を振り返る12月でもあり、初めての試みとして季節を問わない作品を受け付けます。ご自分にとっての癒しを冬の季節、季語を問わず自由に季語を入れて詠んで下さい。令和3年睦月1月は池福楼さんから「寒椿」と出ています。
- * 令和2年霜月11月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね！」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 令和2年11月号への投票、12月号作品への投句、投稿の締め切りはともに12月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

新たなお知らせ

- * 令和3年睦月1月号からは投票方法が少し変わります。持ち票数は2票と変わりませんが、従来通り写俳、俳句それぞれ2票ずつの投票でも、特に気に入った1作品に持ち票の2票を使つての投票でも結構です。
- * 令和3年から3ヵ月毎に「この写真で一句」という部門を始めます。兼題は言葉ではなく写真です。
 1. 兼題写真から自由に発想して「俳句」を詠んで下さい。
 投稿期間は3ヶ月、締め切りは3月20日、まとめて4月号で発表します。
 投稿期間中の何月の句でも自由ですがその季節、季語を詠みこんで下さい。
 2. 川柳、短歌と同様に投稿は自由です。
 3. 作品は記名で投票の対象外となります。
 4. 1月～3月の最初の兼題写真は池福楼さんから、以下の写真を頂きました。



「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、一枝、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木、マム

筆責：北切雀

校正：準坊、池福楼

写楽句会 連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

写楽句会 : <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

四季の森空間 : <https://isamusouma.web.fc2.com/>